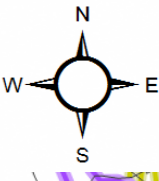






# 那賀町 ため池ハザードマップ

## 歩行困難区域について



### ① 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- ・自分や家族などの居場所と、浸水深やはん濫水の到達時間を確認しましょう。
- ・緊急時にも地図を確認できるよう、居場所には印をつけておきましょう。



### ② 避難場所を決めておきましょう。

- ・浸水深やはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- ・避難時間がなかったり避難途中で浸水した場合に緊急退避できる場所も探しておきましょう。



### ③ 避難場所までの避難経路を考えましょう。

- ・避難場所まで安全に避難できる経路を考えましょう。
- ・避難場所まで実際に歩いて、移動距離を確認しておきましょう。



### ④ 日頃から家族や地域で話し合ひましょう。

- ・災害時に協力しあえるよう、日ごろから家族や地域で役割などを話し合ひましょう。
- ・避難の際に支援が必要な要援護者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



### ⑤ 防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- ・ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日ごろから防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。

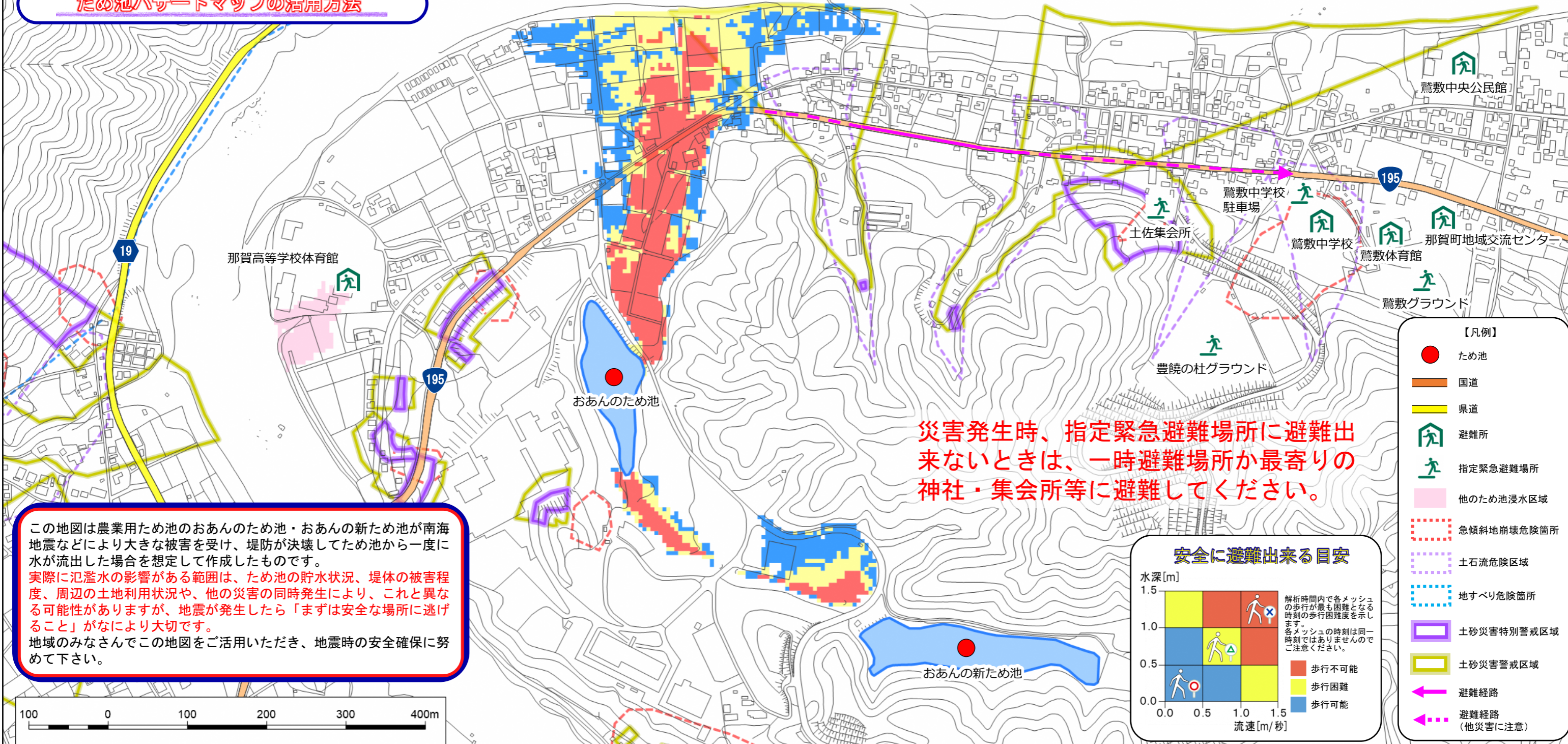


### ⑥ 那賀町の公開している他のハザードマップもご覧下さい。

- ・那賀町では、「那賀町ハザードマップ」をwebで配信しています。このマップと併せて活用し、急な事態に備えましょう。



## ため池ハザードマップの活用方法



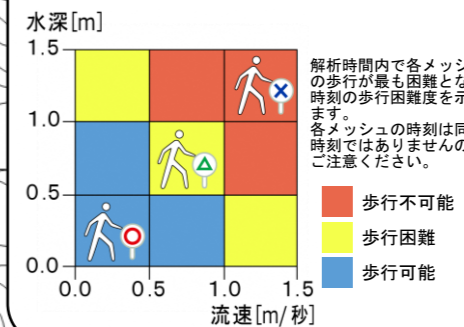
**災害発生時、指定緊急避難場所に避難出来ないときは、一時避難場所か最寄りの神社・集会所等に避難してください。**

この地図は農業用ため池のおあんのため池・おあんの新ため池が南海地震などにより大きな被害を受け、堤防が決壊してため池から一度に水が流出した場合を想定して作成したものです。

実際に氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害程度、周辺の土地利用状況や、他の災害の同時発生により、これと異なる可能性があります。地震が発生したら「まずは安全な場所に逃げる」ことがなにより大切です。

地域のみなさんでこの地図をご活用いただき、地震時の安全確保に努めて下さい。

### 安全に避難出来る目安



- 【凡例】
- ため池
  - 国道
  - 県道
  - 🏠 避難所
  - 🚶 指定緊急避難場所
  - 🌊 他のため池浸水区域
  - 🔴 急傾斜地崩壊危険箇所
  - 🟠 土石流危険区域
  - 🔵 地すべり危険箇所
  - 🟡 土砂災害特別警戒区域
  - 🟢 土砂災害警戒区域
  - ➡ 避難経路
  - ➡ 避難経路 (他災害に注意)

